

# 支援のしくみづくり

## 行政の取組

### 相談体制の充実

- 高齢者や障がいのある人、生活困窮者など、様々な支援を必要とする人を、必要な支援や福祉サービスにつなげる包括的な相談体制の整備 等

### に支援が届く体制の整備

- 自立相談支援事業・住居確保給付金の実施
- 社会的な孤立を防ぐための支援
- 虐待防止に対応するネットワークづくりの推進 等

### 子育て支援の充実

- 妊婦や乳幼児の保護者を対象に子育てに関する情報を得る場の提供
- 子どもに関する相談体制の充実 等

### 保護と支援

- 権利擁護体制の充実と成年後見制度の周知・利用促進 等



### 生活支援手段の確保

- 高齢者おでかけサポート事業の実施、障がい者（児）福祉タクシーの助成 等



## 市社協の取組

- 日常生活の中での心配ごと、悩みごと等の相談体制を整える
- 高齢者、障がい者を優先とした法律相談体制を整える

- 低所得世帯への支援体制を整える
- 子ども食堂、子どもの居場所づくり活動の支援
- コミュニケーション支援、情報弱者に対する支援

- 子育て中のご家庭を対象に仕事と家庭の両立ができるよう支援を行う



- 判断能力に不安のある人に対する福祉サービスの利用援助や金銭管理等の支援



- 地域内交通の実施に向けた取組の支援



# 第4期柳井市地域福祉計画・柳井市地域福祉活動計画

## 概要版

共に支えあい えがおで暮らせる 福祉のまちづくり

～支えあう 心と心で豊かな暮らし～

令和5（2023）年度～令和9（2027）年度

現代は、一人暮らし高齢者の増加や核家族化の進行、虐待、自殺者や生活困窮者の増加、認知症高齢者や障がいのある人の権利擁護問題、さらに「8050問題」や「ひきこもり」の問題なども表面化し、個人や世帯が抱える問題は複雑化・複合化し、既存の支援制度や公的サービスでは対応が困難で、包括的な支援を要するケースもあります。

こうした社会状況の変化や地域の福祉課題に的確に対応するため、「地域共生社会」の実現を踏まえ、第Ⅲ期計画の考え方を継承し、柳井市における地域福祉の推進に向けた「第4期柳井市地域福祉計画・柳井市地域福祉活動計画」を策定いたしました。

第4期柳井市地域福祉計画・柳井市地域福祉活動計画〈概要版〉（令和5年3月発行）

柳井市健康福祉部社会福祉課

〒742-8714 柳井市南町一丁目10番2号

電話：0820（22）2111／FAX：0820（23）7566

メールアドレス：shakaifukushi@city-yanai.jp

柳井市社会福祉協議会

〒742-0031 柳井市南町三丁目9番2号

電話：0820（22）3800／FAX：0820（23）1107

メールアドレス：yanai-syakyo@themis.ocn.jp



# 柳井市地域福祉計画と

## 地域福祉活動計画の関係

### 地域福祉計画とは



地域福祉計画は、社会福祉法第107条の規定に基づく「市町村地域福祉計画」として策定するものです。地域福祉を総合的に推進するための計画として本市の福祉分野における総括的な上位計画と位置づけられています。

### 地域福祉活動計画とは



地域福祉活動計画は、社会福祉法第109条において「地域福祉の推進を図ることを目的に組織される団体」として位置づけられる社会福祉協議会が中心となって策定する住民の福祉に関する活動計画です。



### 計画策定の体制



計画の策定にあたっては、広く市民の意見やニーズを把握し、計画に反映するために市民のアンケートや各地区関係者との懇談会を実施しました。

柳井市地域福祉計画推進会議、柳井市地域福祉活動計画策定委員会の開催、パブリックコメントの実施など様々な形で市民参加を図りました。

## 活動目標2

# 支えあい安心・安全に暮らせるまちづくり

### 行政の取組

しだれもが生活づくり

- 関係機関と連携した地域の安心・安全を守る取組の推進
- 悪質商法やうそ電話詐欺防止のための啓発活動や見守り体制の充実
- 「やまぐち障害者等専用駐車場利用車証制度」の促進

災害時における支援体制の整備

- 防災講習会等を通じた防災知識の普及・啓発と情報提供
- 自主防災組織の結成促進と活動支援
- 避難行動要支援者名簿、個別避難計画の作成と制度の周知

包括的な支援体制の整備

- 複合的な課題や「制度の狭間」にある課題の解決に向けた各関係機関のネットワークづくりの促進及び地域で支えることのできる体制の整備
- 生活困窮者自立支援事業の円滑な実施

地域交流の促進と拠点づくり

- 地域住民が主体的に介護予防等の活動を行う「通いの場」等を活用した住民同士の交流・孤立防止の取組支援 等



### 市社協の取組

- 介助を必要とする人に対する一時的な移動手段確保のための支援
- 「やまぐち障害者等専用駐車場利用車証制度」の促進



- 災害時に備えたボランティアセンター設置運営訓練の実施
- 自主防災組織の支援 等



- 地域の関係者のネットワーク化を通じて助け合い、支えあいの地域づくりを構築
- 生活支援コーディネーターによるニーズと課題解決に向けたマッチング機能の充実を図る 等



- 高齢者や、子ども、障がいがある人等、誰もが参加しやすいふれあい・いきいきサロンの開設、活動を支援する 等







# 第4期柳井市地域福祉計画・柳井市地域福祉活動計画

施

策

体

系

図



共に支えあい えがおで暮らせる 福祉のまちづくり

く支えあう 心と心で豊かな暮らし

## 活動目標1

地域を支える人づくり



## 基本施策1

- ① 福祉意識の醸成
- ② 地域福祉の担い手づくり
- ③ 福祉教育と人権教育の推進

## 取組の方向

- ・市民に福祉活動への理解向上の啓発を図ります
- ・ボランティア活動・地域活動などへの参加を促し、地域社会で活躍できる人材の育成や活動の機会を提供すると共に、高齢者の健康増進や仲間づくり活動を支援します
- ・福祉教育等に関する啓発活動を行います



## 活動目標2

支えあい安心・安全に暮らせるまちづくり

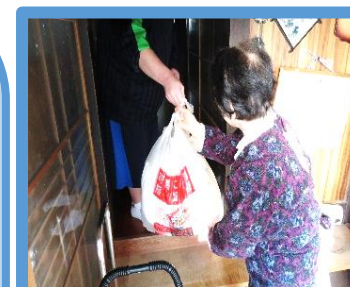


## 基本施策2

- ① だれもが生活しやすい環境づくり
- ② 災害時における支援体制の整備
- ③ 包括的な支援体制の整備
- ④ 地域交流の促進と拠点づくり

## 取組の方向

- ・だれもが自分らしく安心して生活し、活躍できる地域環境の整備を行います
- ・避難行動要支援者名簿作成等の整備を行い、個別避難計画の作成に努めます
- ・地域における複合課題や制度の狭間の問題に対して、既存の組織を超えた研究・検討・支援を行います
- ・地域交流の促進と拠点づくり、サロン活動の担い手のスキルアップ及び後継者の育成及び地域における活動拠点の確保、充実を図ります



## 活動目標3

支援のしくみづくり



## 基本施策3

- ① 相談体制の充実
- ② 支援が届きにくい人への支援
- ③ 子育て支援の充実
- ④ 利用者の保護と支援
- ⑤ 生活交通手段の確保に向けた支援

## 取組の方向

- ・気軽に相談できる支援体制の整備を図ります
- ・生活困窮者やひきこもり状態にある人など支援を必要とする人を適切な支援に結びつける体制を強化し、犯罪をした人が社会の中で更生できる仕組みの強化を行います
- ・子育て世帯を対象に子育てしやすい環境等の支援を行います
- ・日常生活自立支援事業の周知とともに、成年後見制度利用促進基本計画に沿って支援に取り組めます
- ・交通弱者に対する支援・手法の研究を行います







具

体

的

な

取

組

活動  
目標 1

## 地域を支える人づくり

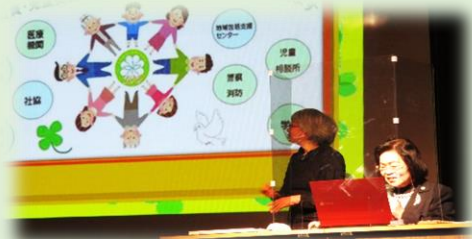
## 行政の取組

- 地域活動情報を提供し、地域福祉に対する住民の関心や支えあいの意識を深め、実践的な地域活動につながるよう啓発に努める
- 高齢、障がい、子ども、生活困窮など、全ての人が生きがいをもつにつくり、地域で支えあい、生活を支える仕組みが機能するよう働きかける 等

福祉意識の醸成

- ボランティアや各団体の交流会や活動発表の場を提供
- 自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ等の団体を地域住民に紹介・周知を実施

地域福祉の担い手づくり



- 自治会長集会における人権教育等の実施
- ボランティア団体等の活動の支援

福祉教育と人権教育の推進



## 市社協の取組

- 福祉情報の提供や地域福祉の啓発
- 地域の様々な人が地域福祉活動に参加できるよう支援し、地域福祉活動の充実を図る
- 赤い羽根共同募金運動等の推進等



- 福祉員の育成に努め、地域内の活動者がお互いの活動を理解し、連絡体制を構築するための情報交換の場を設ける
- ボランティア団体等の活動の支援等



- 福祉学習の支援を行う

基本  
目標

## 計画の基本目標と活動目標

「自分らしく 健康でいきいきと暮らしていけるまち・柳井 ～住民パワーで安心・安全のまちづくり～」を引き続き本計画の基本目標とします。地域住民等と柳井市、柳井市社会福祉協議会が協働し、第Ⅲ期計画で取り組んできた施策に加え、社会の変化、法改正等を反映した施策を展開していきます。

## 活動目標 1 地域を支える人づくり

地域福祉を充実させるためには、地域の互助活動を担う人材が重要です。地域住民が積極的に地域活動やボランティア活動に参加できるよう、意識啓発・人材育成に努めます。

ライフスタイルが多様化・複雑化し、地域には、様々な人が暮らしています。年齢や健康状態、障がいの有無、価値観など様々な「違い」を乗り越えて地域住民一人ひとりがお互いに尊重し合えるよう、福祉教育、人権教育に取り組みます。

## 活動目標 2 支えあい安心・安全に暮らせるまちづくり

ユニバーサルデザインに配慮した、だれもが使いやすい環境整備によるまちづくりを進めます。

地域での防災意識の啓発や防災訓練、支援が必要な方の名簿の作成を行い、大災害に備えます。

高齢者や障がいのある人、子どもなど、分野ごとの公的な福祉サービスの一層の充実を図り、関係機関と連携し、支援が必要な人を必要な支援につなげる包括的な支援体制の充実を図ります。

また、地域の課題解決に向けた地域内の調整や関係機関とのつなぎ役としての生活支援コーディネーターの配置に取り組みます。

自治会をはじめ、自主防災組織や地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ、子ども会、ふれあい・いきいきサロン実施団体、ボランティア団体等の活動を支援します。

## 活動目標 3 支援のしくみづくり

地域住民一人ひとりが自分にとって必要な福祉サービスを受けることができるよう、情報提供・相談・支援体制を整え、支援が届きにくい人や子育て支援の充実等に取り組めます。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、交通手段についての支援・研究を行います。